

2020 年 3 月 31 日

助成事業実施報告書

団体名 八王子自助具工房フレンズ

代表者・役職名 氏名 代表 伴 育

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

自助具製作の常設作業場設備の借用と増強(2018 年は木工作業場借用導入、今年度は金属加工器等を増設)

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など、180 文字程度まで)

関東に無い自助具製作ボランティア団体(肢体不自由者、高齢者の身体機能にあった生活便利用品を安価に作る活動で、全国 38 団体の内、東日本には秋田に1ヶ所のみ)を 4 年前、八王子市に会員11名で設立。地域住民へ自助具の認知、普及及び「使い手と作業療法士と作り手」の協業システム作りを目指しています。ボランティアで使える常設の自助具製作場所が無いのが現状です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250 文字程度まで

- ・常設作業場所としてのレンタル工房の利用:大型自助具、数量の多い自助具、金属加工の必要な自助具の製作には、従来借用していた場所では騒音、粉塵、安全性、活動日数、納期等の面から限界で、常設工房場所として有料木工レンタル工房を利用はじめ、諸問題は殆ど解決し、製作活動日が増し、納期短縮も可能になりました。但し工房利用料を製品に転嫁することは、ボランティアの趣旨に反するので、現在助成金等に負う事で凌いでいます。
- ・普及活動で売り上げ、工房の管理業務受託料等が増えれば、自立も目指せるとの思いです。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300 文字程度まで

基本的には応募申請と変わりはありません。

- * H30 年度は常設作業場所として「木工レンタル工房」を利用して、作業上の問題は解決出来た。
- * 工房の一般利用者の事務、技術管理業務を受託で工房レンタル料の低減を計っている。
- * 開設が遅れ一般利用が少なく、計画通りの収入に充たない為、一般利用者増と自助具製作として「金属加工機」を増設。「金属加工の可能なレンタル工房」とし集客を目指す。
- * 金属加工機は代表の私物をレンタル工房に寄贈(旋盤、フライス、アルゴン溶接等々、測定器等)。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生みれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300 文字程度まで

- ・レンタル工房の活用は 465h 93 人日で、156 人日の計画未達:要因は普及活動に注力しすぎた事と新型コロナです。自助具 35 種 77 点製作、受注残が出ています。(添付参考資料 B 参照) 他方住環境改善でスロープ等の製作も始めました。
- ・レンタル工房の一般利用者は 47 人(前年 10 人)と増え、受託管理費でレンタル費用の 10% を貯めた。
- ・市民センター祭り、他市、国際福祉機器展、夏季講習会、自助具製作指導等約 25 回強参加しましたが、製作時間不足に陥りました。
- ・改訂 DataBase のデーター登録が始まり、普及の低い地域での活用に期待しています。
- ・ボランティア活動が認められ、「福祉のまちづくり功労者として知事の感謝状」を受賞、知名、認知度の向上を感じています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300 文字まで

- ・金属加工機の移設設置もほぼ終りましたが、一般人に使って貰うには、加工技術講習会(2 回/月、最低 6 ヶ月)程度の講習が必要。金属加工により他工房との差別化を図り、工房利用客を増し、レンタル費低減を進めます。
- ・都の作業療法士会とも繋がりましたが、OT 等からの依頼は、比較的難しい物が多く時間を要する様になっています。
- ・3d プリンター技術の早期習得と実用化は必須、又パソコン活用の自助具も今後取り組みたく思っています。
- ・展示等普及活動で、製作時間不足に陥ったので、普及活動を少し抑え、住環境、障がい者授産設備道具の製作も増したい。
- ・高齢化は否めず PC 活用も必須であり、後継者の募集育成が喫緊の課題である。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし

ホームページ：「八王子自助工具房フレンズ」または URL : <http://tomo8jijyog.nazo.cc>

URL : <http://hachishd.sakura.ne.jp>

製作自助具例



片手お皿洗い



クッキー生地カッター

ヨーグルト・納豆等のラミネート蓋のツバ
↓
が小さく指の握力が弱く開け辛い方に



ラミネート蓋開け



長柄付き頭髪洗浄ブラシ



片手爪切り



金属加工機



←
卓上旋盤
マシンソー
卓上フライス盤
ボール盤
電動サンダー
TIG溶接機
エアープラズ
マ溶断機 等

実習風景



市民センター祭り等（屋内、屋外）展示説明会



I 知事感謝状受賞者の紹介

1 福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状

(普及・推進のための活動等)

所在地 八王子市

はちおうじじじょぐこうばう 八王子自助工具房フレンズ

八王子自助工具房フレンズは、東京都内に自助具製作のボランティア団体がなかったことに着目し、平成27年からオーダーメイドの自助具の製作及び普及啓発活動を東京都内で行っています。

自助具は、個人の症状、習慣や癖などに合わせることが求められるため、一人一人に合った快適な生活をサポートすることを目的として、依頼者本人の症状に合わせた自助具のオーダーメイド製作や、納入後の機能回復や症状変化に合わせた修正をアフターケアとして行っています。個人に合った自助具を活用することにより、日常生活の範囲が広がり、本人の自立促進を促し、家族や周囲の人々にも喜びを感じていただくことができます。

また、東京都八王子東特別支援学校では会員が専属で対応し、自助具の製作だけでなく、療育玩具の製作、改善修理も行い、児童生徒の教育活動にも貢献しています。

これらの活動や自助具について、東京都作業療法士会を始め、八王子市内外の市民センター祭りや、福祉関係のイベントにて、普及啓発活動も行っています。

今後も、自助具の製作によって都民を支えること、自助具作成のボランティア活動が普及し、継続した活動となることが期待されます。



普及のための市民センターでの展示実演説明



作成した自助具の例

左上：片手で出来る、瓶のフタの開け締め器

右上：片手で使える爪切り

左下：片手で使えるまな板、包丁

右下：片手でシャンプーが取れるボトル

推薦者 八王子市



八王子自助具工房 フレンズ

ご案内

- * 握力がなくても、爪が切れます。
- * 余暇をもっと楽しく、トランプ遊びや、刺繡に



自助具とは

身体が不自由なため、日常生活の中で不便なこと、出来ないこと
人に頼らなければならない事等が、たくさんあります。
毎日の生活を少しでも容易に、可能な限り自立できるように
工夫された道具です

○ 八王子自助具工房「フレンズ」開設について

* 快適な自立生活をサポートします

「一人ひとりに合った快適な生活をサポート出来たら」との思いで、平成27年に八王子ボランティア・センターの協力を得て、「八王子自助具工房フレンズ」としてボランティアグループ活動を始めました。利用者の声を聞きながら、その人に合った自助具を製作、アフターケアをモットーとしています。グループメンバー、装置、装備、技量はまだまだ未熟ですが、

* メンバー各位の心意気は

- ・利用者さまの日常生活が少しでも快適になるよう。
- ・自立生活を助け社会参画の手助けになるよう。
- ・介護、サポートの方の負担が軽くなるよう。
- ・アイディア、工夫など研究・開発・情報収集を心がけ。
- ・地域の皆さんに自助具の事を知って頂き、広まるよう。

との思いで、活動しています。(下図:メンバーアクティビティ風景)



○ 八王子自助具工房「フレンズ」の主な活動

* 自助具の製作 :

自助具には食事、身だしなみ、家事、趣味、コミュニケーション用具等あらゆる日常生活の道具があります。製作に当たっては

- ・その人の身体機能に合ったもの
- ・身体機能の変化に可能な限り対応していくこと
- ・経済的負担が少ないもの。

なお、愛用品等をお持ち頂ければ、加工をボランティアで致します。
・安全に配慮したもの。

* 相談 : 製作相談、情報提供・依頼受付・見積相談等

* 広報活動 : 説明会、展示会等で自助具の事、及びボランティアで自助具製作をしている事を広める

* 活動日 : 毎月第1、2、3土曜日(午後1時~4時)

* 活動場所 : 八王子ボランティア・センター内

自助具製品の一例

食事介助



家事介助



整容介助



動作介助



余暇・リハビリ



その他



○製作依頼・問い合わせは

「八王子自助工具フレンズ」の新所在地
192-0081 東京都八王子市横山町金子ビル 4F
八王子市ボランティアセンター内に変わりました。
製作依頼、お問い合わせは、下記連絡先に
電話・FAX(9時~19時)ください。
連絡先: 192-0156 八王子市上恩方町 1016-1
「木工レンタル工房 Craft Works Bear」内
八王子自助工具フレンズ
電話 : 090-6554-0515(9時~20時)
FAX : 042-699-1206
E メール: 192yoko@hachishd.sakura.ne.jp
ホームページ: <http://hachishd.sakura.ne.jp>
八王子自助工具フレンズは下記の事業の
援助を受けて活動しています。
公団 大和証券福祉財団 (2019年)
真如苑助成事業 (平成30年度・31年度)
八王子市民企画事業補助金 (30年度)
大同生命厚生財団 (平成29年度)
八王子市社協社会福祉団体 (平成29年度)
公団 木口福祉財団 (平成28年度)
公団 車両競技公益資金財団 (平成28年度)



製作依頼される方は

* 下記の用紙又は同様式で依頼内容の概略を書き、ボランティア・センター内「八王子自助工具房フレンズ」宛にFAX等で提出して下さい。後日、依頼者様に製作可否等をご連絡致します。
* 製作にあたり、依頼者に詳細をお尋ねすることもありますので連絡先(住所、電話、メールアドレス等)は必ずお書きください。

自助具製作依頼書

ご依頼月日 _____

依頼者: 氏名 _____ 本人・保護者・PT・OT・LT・看護師・介護者・CM・其の他 _____
: 住所 _____ 連絡先電話 _____
使用者: 氏名 _____ 性別: 男 女 年齢 () _____

製作依頼品: 名称又は何をどの様にしたいか(説明又は概略図及び数量)等

依頼者希望納期

数量

* 八王子自助工具房フレンズ記入欄 * 受付日 _____ 受付者 : _____

フレンズからの回答: 製作の可否

納期(予定日)

概算価格

代金 円

受領日 年 月 日 (受領者)